

(様式第 10)

浜医大医第 4 号
令和 3 年 1 0 月 5 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人浜松医科大学
学長 今野 弘之

浜松医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
氏 名	国立大学法人浜松医科大学 学長 今野弘之

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

浜松医科大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号	電話 (053) 435-2111
----------------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
②医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

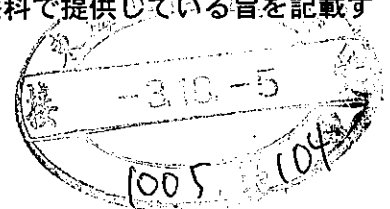
4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科
4腎臓内科	8代謝内科	
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。



(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科 2消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 6心臓血管外科 7内分泌外科 8小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 7産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑬麻酔科 ⑭救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 2矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1循環器科 2神経科 3心臓血管外科 4リハビリテーション科 5形成外科 6病理診断科 7小児外科

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
37床	床	床	床	576床	613床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	392人	32.9人	424.9人	看 護 補 助 者	100人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	9人	0.4人	9.4人	理 学 療 法 士	24人	臨床検査技師	75人
薬 剤 師	42人	0人	42人	作 業 療 法 士	13人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0.4人	0.4人	視 能 訓 練 士	4人	その他	0人
助 産 師	40人	2.1人	42.1人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	709人	38.1人	747.1人	臨 床 工 学 士	24人	医療社会事業従事者	6人
准 看 護 師	3人	2.3人	5.3人	栄 養 士	0人	その他の技術員	59人
歯 科 衛 生 士	3人	0人	2人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	147人
管理栄養士	12人	1.5人	13.5人	診 療 放 射 線 技 師	41人	その 他 の 職 員	13人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	62人	眼 科 専 門 医	10人
外 科 専 門 医	44人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	13人
精 神 科 専 門 医	8人	放 射 線 科 専 門 医	15人
小 児 科 専 門 医	24人	脳 神 経 外 科 専 門 医	7人
皮 膚 科 専 門 医	7人	整 形 外 科 専 門 医	18人
泌 尿 器 科 専 門 医	5人	麻 酔 科 専 門 医	31人
産 婦 人 科 専 門 医	20人	救 急 科 専 門 医	3人
		合 計	267人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名(松山幸弘) 任命年月日 令和2年4月1日

- 平成26年4月1日から平成28年3月31日まで 医療安全管理室長(リウマチ科)担当副病院長)
- 平成28年4月1日から平成30年3月31日まで 医療安全管理委員会委員長(病院長)
- 令和2年4月1日より医療安全管理委員会委員長(病院長)に就任

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	459.9人	3.6人	463.5人
1日当たり平均外来患者数	1270.5人	53.9人	1324.4人
1日当たり平均調剤数			732.8剤
必要医師数			121.0人
必要歯科医師数			4.0人
必要薬剤師数			16人
必要(准)看護師数			277人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	254.20m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	12床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 316.5 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	24床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 21 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	413.17m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学・免疫全自動分析装置・全自動血液検査システム			
細菌検査室	174.70m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動細菌同定感受性装置・自動血液培養装置			
病理検査室	213.30m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動固定包埋装置・パラフィン包埋ブロック作成装置・マイクローム			
病理解剖室	46.00m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 排水滅菌システム・固定液作成装置・解剖台			
研究室	436.80m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 臨床情報検索データベースシステム			
講義室	255.10m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	1室	収容定員	170人
図書室	61.20m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	6,200冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	98.8%	逆紹介率	59.6%
算出根拠	A：紹介患者の数		12633人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9014人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2301人
	D：初診の患者の数		15103人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
小島 崇宏	大阪 A & M 法律事務所	○	医療に係る安全管理に関する識見を有するもの	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
桑原 允嗣	静岡県立高等学校元副校長		医療を受ける者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
大磯 義一郎	国立大学法人 浜松医科大学		法律に関する識見を有するもの	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
公表の方法 浜松医科大学医学部附属病院ホームページにて公表 (https://www.hama-med.ac.jp/hos/about-us/iryouannzennkansa.html)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	40
2	筋萎縮性側索硬化症	12	57	特発性拡張型心筋症	45
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	25
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	7	60	再生不良性貧血	20
6	パーキンソン病	151	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	28
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	5
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	5
11	重症筋無力症	44	66	IgA 腎症	50
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	27
13	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	49	68	黄色靱帯骨化症	10
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多巣性運動ニューロパチー	16	69	後縦靱帯骨化症	99
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	65
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	13
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	35	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	3	74	下垂体性PRL分泌亢進症	24
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	16
21	ミトコンドリア病	4	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	12	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	47
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	141
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	24	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	79
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	95
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	15
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	25
34	神経線維腫症	19	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	20	90	網膜色素変性症	20
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	12	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	19
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	6
40	高安動脈炎	14	95	自己免疫性肝炎	11
41	巨細胞性動脈炎	11	96	クローン病	199
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	214
43	顕微鏡的多発血管炎	23	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	17	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	2	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	4	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	6	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	177	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎 / 多発性筋炎	109	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	64	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	21	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	22	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	15	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	0

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	3	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	0
113	筋ジストロフィー	6	163	特発性後天性全身性無汗症	5
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	1	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガスター症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	3	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無リボタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	26	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	2
224	紫斑病性腎炎	7	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	3
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性肺炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	8
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ボルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	26

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	9
318	シリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0			

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般 7対1)	・患者サポート体制充実加算
・特定機能病院入院基本料(精神 13対1)	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・臨床研修病院入院診療加算 基幹型	・ハイリスク妊娠管理加算
・救急医療管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算2
・妊産婦緊急搬送入院加算	・地域連携診療計画加算
・診療録管理体制加算1	・入院時支援加算
・医師事務作業補助体制加算1(40対1)	・総合評価加算
・急性期看護補助体制加算(一般 25対1(5割以上))	・呼吸ケアチーム加算
・急性期看護補助体制加算(一般 夜間100対1)	・後発医薬品使用体制加算1
・急性期看護補助体制加算(一般 夜間看護体制加算)	・病棟薬剤業務実施加算1
・看護職員夜間12対1配置加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・看護補助加算2(精神)	・データ提出加算2
・療養環境加算	・提出データ評価加算
・重症者等療養環境特別加算	・認知症ケア加算2
・無菌治療室管理加算 1,2	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・緩和ケア診療加算,個別栄養食事管理加算	・精神疾患診療体制加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・精神科リエゾンチーム加算	・地域医療体制確保加算
・摂食障害入院医療管理加算	・特定集中治療室管理料2
・がん拠点病院加算	・特定集中治療室管理料 小児加算
・栄養サポートチーム加算	・特定集中治療室管理料 「注4」に掲げる早期離床・リハビリテーション加算
・医療安全対策加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・感染防止対策加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・感染防止対策地域連携加算	・小児入院医療管理料2
・抗菌薬適正使用支援加算	・小児入院医療管理料 プレイルーム加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料	・がん治療連携計画策定料
・植込型除細動器移行期加算	・がん治療連携管理料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・外来がん患者在宅連携指導料
・慢性維持透析患者外来医学管理料の注3に規定する腎代替療法実績加算	・肝炎インターフェロン治療計画料
・高度難聴指導管理料	・薬剤管理指導料
・糖尿病合併症管理料	・検査・画像情報提供加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・電子的診療情報評価料
・がん患者指導管理料イ	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料ロ	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料ハ	・医療機器安全管理料(歯科)
・がん患者指導管理料ニ	・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・外来緩和ケア管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・糖尿病透析予防指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・小児運動器疾患指導管理料	・横隔神経電気刺激装置加算
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・造血器腫瘍遺伝子検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝学的検査
・腎代替療法指導管理料	・骨髄微小残存病変測定
・院内トリアージ実施料	・BRCA1/2遺伝子検査
・夜間休日救急搬送医学管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・救急搬送看護体制加算	・先天性代謝異常症検査
・外来放射線照射診療料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・ニコチン依存症管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・相談支援加算	・検体検査管理加算
・開放型病院共同指導料	・国際標準検査管理加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・遺伝カウンセリング加算	・冠動脈CT撮影加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・大腸CT撮影加算
・植込型心電図検査	・心臓MRI撮影加算
・時間内歩行試験	・乳房MRI撮影加算
・シャトルウォーキングテスト	・頭部MRI撮影加算
・胎児心エコー法	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ヘッドアップティルト試験	・外来化学療法加算1
・人工臓器検査	・連携充実加算
・皮下連続式グルコース測定	・無菌製剤処理料
・長期継続頭蓋内脳波検査	・心大血管疾患リハビリテーション料()
・神経学的検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料()
・補聴器適合検査	・廃用症候群リハビリテーション料()
・全視野精密網膜電図	・運動器リハビリテーション料()
・ロービジョン検査判断料	・呼吸器リハビリテーション料()
・コンタクトレンズ検査料1	・がん患者リハビリテーション料
・小児食物アレルギー負荷検査	・集団コミュニケーション療法料
・内服・点滴誘発試験	・歯科口腔リハビリテーション料2
・センチネルリンパ節生検(片側)	・各リハビリテーションの初期加算
・CT透視下気管支鏡検査加算	・児童思春期精神科専門管理加算
・経気管支凍結生検法	・認知療法・認知行動療法1
・画像診断管理加算1	・精神科作業療法
・画像診断管理加算2	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・ポジトロン断層撮影(所定点数の100/100)	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・ポジトロン断層.コンピューター断層複合撮影(100/100)	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料
・CT撮影及びMRI撮影	・多血小板血漿処置

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・人工腎臓慢性維持透析を行った場合1	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・導入期加算2	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工脾臓療法	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・一酸化窒素吸入療法	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・手術用顕微鏡加算	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・皮膚移植術(死体)	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・組織拡張器による再建手術	・経皮的冠動脈形成術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る)))	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・後縦靭帯骨化症手術	・胸腔鏡下弁形成術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下弁置換術
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・経皮的僧帽弁クリップ術
・脳刺激装置植込術	・不整脈手術
・脳刺激装置交換術	・経皮的カテーテル心筋焼灼術(磁気ナビゲーション加算を算定する場合に限る)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・経皮的中隔心筋焼灼術
・羊膜移植術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカーの場合)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術 型(拡大副鼻腔手術)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの及び皮下植込型リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(その他のもの)
・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・経静脈電極除去術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・両室ペース機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペース機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・膀胱水圧拡張術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的大動脈遮断術	・膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・ダメージコントロール手術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術	・腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・腹腔鏡下胃切除術、噴門側胃切除術、胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・胃瘻造設術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胃瘻閉鎖術	・輸血管理料
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・輸血適正使用加算
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・体外衝撃波胆石破砕術	・コーディネート体制充実加算
・体外衝撃波膵石破砕術	・自己生体組織接着剤作成術
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・自己クリオプレシテート作製術(用手法)
・腹腔鏡下肝切除術((部分切除及び外側区域切除)、(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもので))	・同種クリオプレシテート作製術
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術
・結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・麻酔管理料()
・同種死体腎移植術	・麻酔管理料()
・生体腎移植術	・放射線治療専任加算

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
医療事故に関連した医療従事者に対する対応等に関する研究	大磯 義一郎	法学	¥2,600,000	(補委) 厚生労働省
地域保険における保健所に求められる役割の明確化に向けた研究	尾島 俊之	健康社会医学	¥5,300,000	(補委) 厚生労働省
災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究	尾島 俊之	健康社会医学	¥2,990,000	(補委) 厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	須田 隆文	内科学第二	¥1,600,000	(補委) 厚生労働省
性分化・性成熟異常を伴う内分泌症候群(ブラダーウィリ症候群・ヌーナン症候群を含む)の診療	緒方 勤	小児科学	¥8,450,000	(補委) 厚生労働省
モチベーションの脳機能イメージング	尾内 康臣	生体機能イメージング研究室	¥6,390,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
多因子疾患としての性分化疾患・生殖機能障害発症機序の解明	緒方 勤	小児科学	¥5,470,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
皮膚と消化管に共通発現するスプラバシンの欠損が導く内因性アトピー性皮膚炎の解明	戸倉 新樹	細胞分子解剖学	¥8,120,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
セロトニン神経系トリプトルーパーPETによる双極性/単極性うつ病の鑑別法の検討	山末 英典	精神医学	¥90,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント分子阻害を利用した細胞内寄生菌感染に対する新規ワクチンの開発	須田 隆文	内科学第二	¥1,550,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
発達精神医学におけるプレジジョン・メディシンの展開	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	¥5,590,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
放射線治療効果予測を目指す分子標的画像法の開発 - DNA修復機構を対象として -	間賀田 泰寛	分子病態イメージング研究室	¥5,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
血中循環腫瘍細胞の新規検出方法の開発と臨床応用	竹内 裕也	外科学第二	¥5,840,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
アルツハイマー病での神経生存とミクログリア極性変化の多角的可視化と治療応用	尾内 康臣	生体機能イメージング研究室	¥7,410,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
セロトニン-オキシトシン相互作用の多角的検討:自閉症中核症状の治療シーズ創出	桑原 斉	精神医学	¥7,410,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
羊水塞栓症の遺伝的リスク背景ならびに発症機序の解明:新たな治療戦略を目指して	伊東 宏晃	産婦人科学	¥1,680,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
光テックロジーを利用した血液ブドウ糖濃度の連続測定法の開発	土井 松幸	集中治療部	¥80,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
携帯型e-ポートフォリオを活用した臨床実習カリキュラムの開発	五十嵐 寛	臨床医学教育学	¥80,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
輻射輸送方程式の解析解	町田 学	生体医用光学研究室	¥650,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
神経性やせ症の治療にピアサポーターが与える効果とピアサポーター自身の回復について	望月 洋介	精神科神経科	¥2,210,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
PACを用いた神経再生の検討	大村 威夫	整形外科	¥650,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
自己免疫疾患根治を可能とする革新的DDS創薬	清水 広介	分子病態イメージング研究室	¥1,560,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
がん患者における神経障害性疼痛治療薬の鎮痛効果および有害作用の変動予測法の構築	川上 純一	薬剤部	¥1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
LIX1L蛋白質発現癌細胞でのRNA翻訳伸長反応制御による標的治療薬開発研究	中村 悟己	腫瘍病理学	¥80,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会

川崎病後の動脈硬化進展に関する冠動脈先端画像法とマルチバイオマーカーとの融合研究	石川 貴充	周産母子センター	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
Aryl Hydrocarbon Receptorを介した小腸粘膜防御機構の制御	杉本 健	内科学第一	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
肥大型心筋症の病因解明と新規薬物療法の開発に向けた研究	前川 裕一郎	内科学第三	¥90,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
オートファジを制御するmicroRNAを用いたポンペ病骨格筋の治療戦略	福田 冬季子	小児科学	¥,040,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
破裂予防薬や予測法の開発に向けた腹部大動脈瘤壁の脈管新生と刷り応力の関連性の検討	犬塚 和徳	第二外科	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
熱中症における血管内皮障害とその治療法の探索	中島 芳樹	麻酔・蘇生学	¥,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
障害を受けた灌流下培養血管内皮細胞に高血糖、高酸素が及ぼす影響	小幡 由佳子	集中治療部	¥30,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
視床下核刺激のパーキンソン病モデルサルに対する微細運動改善効果は薬剤に勝るか	浅川 哲也	脳神経外科学	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
CCKBRの神経再生における役割	大和 雄	長寿運動器疾患教育研究	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌のドセタキセルに対する耐性獲得機構の解明と新規治療法の開発	三宅 秀明	泌尿器科学	¥10,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
4D PC-VIPRを用いたロボット支援下腎部分切除術時の腎動脈客観的流速解析	本山 大輔	泌尿器科	¥80,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
羊水塞栓症の病態解明に向けた羊水胎児成分と母体の反応系に関する基礎的研究	田村 直顕	周産母子センター	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
指接着型胎児オキシメーターと胎児心拍数モニタリングを併用した新規分娩管理法	内田 季之	周産母子センター	¥,040,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
精子運動活性化と受精率を向上させる糖転移酵素である新規薬剤の開発	柴田 俊章	産科婦人科	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
子宮頸部上皮内病変に対する日帰リ光線力学療法(PDT)の基礎的・臨床的研究	村上 浩雄	産科婦人科	¥10,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
新規に発見した加齢黄斑変性責任遺伝子PANK4の機能解析と発症メカニズムの追究	大石 健太郎	光ゲノム医学研究室	¥,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
皮膚洗浄剤による創傷治癒への影響	山下 寛奈	基礎看護学	¥,040,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
妊娠糖尿病既往のある女性の分娩後の糖尿病発症を予防するチーム医療のあり方	安田 孝子	臨床看護学	¥650,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
急性腎障害後に持続するサルコペニアの成因および治療法の解明	加藤 明彦	血液浄化療法部	¥10,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
赤血球不規則抗体陽性例における抗原陽性血輸血の前方向的研究と登録システムの構築	竹下 明裕	輸血・細胞治療部	¥,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
脳内活性化ミクログリアのマルチモダル動態解析による次世代うつ病治療シーズの創出	亀野 陽亮	精神医学	¥,690,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
拒食症からの回復過程の脳分子メカニズムの解明:PETとMRIの統合的解析	横倉 正倫	精神医学	¥,950,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
神経性やせ症の治療ステージ進展に伴う脳糖代謝とデフォルトモードネットワークの変化	栗田 大輔	精神医学	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
統合失調症者における喫煙の自己治療作用への7ニコチン性受容体と神経炎症の関与	和久田 智靖	精神科神経科	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
がん免疫療法の治療効果早期判定を目的としたパーフォリン標的画像診断法の開発	鈴木 千恵	分子病態イメージング研究室	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
薬剤感受性に基づく小児白血病の新たな治療標的の解明	坂口 公祥	小児科	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
DNAミスマッチ修復正常型高頻度変異大腸がんのDNAポリメラーゼ校正機能解析	岩泉 守哉	臨床検査医学	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会

ゲノム解析による潰瘍性大腸炎のサイトメガロウイルス薬剤耐性株再活性化の治療戦略	大澤 恵	光学医療診断部	¥,040,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
Toll様受容体を介した粘液線毛輸送系の促進機序の解明と慢性気道疾患への治療応用	藤澤 朋幸	第二内科	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
間質性肺炎を標的とした膠原病に対する新規免疫複合療法の開発	中村 祐太郎	第二内科	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
急性腎障害からの遠隔臓器障害に対する善玉経路としての神経免疫応答の検証	安田 日出夫	第一内科	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
アトピー性皮膚炎における表皮角化細胞のガレクチン7産生機構とその意義	島内 隆寿	皮膚科	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
炎症性皮膚疾患における皮膚浸潤T細胞のMDR1発現とステロイド抵抗性	藤山 俊晴	皮膚科	¥80,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
二次性リンパ浮腫の病態解明と新しい薬物治療法の開発	佐野 真規	第二外科	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
脂質メディエーターをターゲットとしたアトピー性皮膚炎の病態解明と創薬	本田 哲也	皮膚科学	¥,690,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
チロシンキナーゼ阻害剤による動脈硬化促進に関わるバイオマーカーの網羅的探索研究	小野 孝明	第三内科	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
定量位相顕微鏡技術を用いた新規循環腫瘍細胞検出技術の臨床応用	菊池 寛利	第二外科	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
CAC発癌における間葉系幹細胞の役割の解明	山本 真義	外科学第二	¥,820,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
腹部大動脈瘤術後2型エンドリクによる瘤増大を予測予防するための革新的研究	海野 直樹	外科学第二	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
分子状水素吸入による人工心肺後の脳障害軽減・血管内皮グリコカリックス保護効果	加藤 孝澄	麻酔・蘇生学	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
近赤外分光法を用いた脳および重要臓器のオートレギュレーション評価	栗田 忠代士	手術部	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
グリコカリックス解析による出血性ショックに対する水素吸入療法の開発	御室 総一郎	集中治療部	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
グリコカリックスの敗血症重症化における基礎的検討	八木原 正浩	麻酔科蘇生科	¥,770,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
歯髄幹細胞を用いた脳動脈瘤破裂予防の研究	牧野 洋	麻酔科蘇生科	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
ビタミンD欠乏が脳動脈瘤の破裂に及ぼす影響とメカニズムの検討	鈴木 興太	麻酔科蘇生科	¥,080,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
マルチコブターと人工知能を用いた自律救急災害診療	齊藤 岳兒	救急部	¥,040,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
脳腫瘍に対する間葉系幹細胞を用いた自殺遺伝子療法	天野 慎士	脳神経外科学	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
単純ヘルペスチミジンキナーゼ遺伝子導入Muse細胞を用いた肺癌脳転移新規治療戦略	鮫島 哲朗	脳神経外科	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
PACを用いた脊髄再生の検討	松山 幸弘	整形外科	¥,690,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
間質性膀胱炎の診断に有用な尿中バイオマーカーの探索	大塚 篤史	泌尿器科	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
アドレナリン気管内投与による羊水塞栓症の救命法の開発	磯村 直美	周産母子センター	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
好酸球性副鼻腔炎におけるトリプトファン代謝機構の解明と新規治療法の創製	石川 竜司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	¥,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
長期予後の改善を目標とした新たな周術期強化栄養運動プログラムの開発	平松 良浩	周術期等生活機能支援	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
PK-PD解析に基づく自己免疫疾患に対する低分子分子標的薬の投与設計法の確立	見野 靖晃	薬剤部	¥,690,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会

日本人非喫煙者におけるER多型と肺腺癌リスクとの関連	陶 弘	腫瘍病理学	¥1,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
結核に対するシアルダーゼを用いた新規ナノ粒子ワクチンの開発	榎本 紀之	保健管理センター	¥1,950,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
がん遺伝子パネル検査の外部精度評価スキームの戦略的実践によって検査の質向上を図る	前川 真人	臨床検査医学	¥2,730,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
診断閣下の自閉スペクトラム特性をもつ女児の早期徴候の探索ー縦断的出生コホート研究	西村 倫子	子どものこころの発達 研究センター	¥2,080,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
肺血管内皮細胞の低酸素応答による線維化促進の機序解明と治療への応用	乾 直輝	臨床薬理学	¥2,210,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
NKG2D、NKG2D ligand発現制御による円形脱毛症の新規治療の開発	伊藤 泰介	皮膚科学	¥1,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
血管周囲脂肪細胞による血管壁炎症に着目した腹部大動脈瘤形成の機序解明と治療戦略	佐々木 健	器官組織解剖学	¥1,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
血管内リアルタイムモニタの開発: 下肢閉塞性動脈硬化症におけるレーザ治療への応用	松本 祐直	薬理学	¥1,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
植物性エストロゲンによる脳動脈瘤形成予防の解明	平松 久弥	脳神経外科	¥2,210,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
浸潤性脳腫瘍に対する分子標的薬と遺伝子治療との併用療法とその腫瘍微小環境の解明	黒住 和彦	脳神経外科学	¥1,352,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
ナノスーツ法による新しい精子評価方法の確立	宗 修平	生殖周産期医学	¥2,340,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
妊婦のエネルギー摂取不足に起因する成長後の児の脂肪肝発症リスク軽減を目指して	幸村 友季子	産婦人科	¥1,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
頭頸部癌におけるエピゲノム動態のリアルタイムモニタリング法の確立	三澤 清	耳鼻咽喉科	¥3,380,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
若年者の後天共同性内斜視の原因と治療に関する研究	佐藤 美保	眼科学	¥1,820,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
わが国の難治性未診断眼疾患に対する新しい疾患概念の確立と診断法の開発に関する研究	堀田 喜裕	眼科学	¥1,040,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
マルチモダリティ脳画像マーカーによる軽症うつ病の客観的治療法選択の実現に向けて	鈴木 峻介	精神科神経科	¥1,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
臨床応用を目的としたダイナミックリンパ流イメージング法の開発	棚橋 裕吉	放射線診断科	¥520,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
多角的なプロテオーム解析による特発性間質性肺炎の分子発現解明と臨床応用	穂積 宏尚	内科学第二	¥1,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
The mechanism of intravascular lymphoma	糟谷 啓	皮膚科学	¥1,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
食物アレルギーの耐性獲得と免疫グロブリンの親和性成熟	夏目 統	小児科学	¥90,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
人工心肺による脳機能障害の予防法: 水素ガスによる予後改善効果の検証	大橋 雅彦	麻酔科	¥1,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
臨床使用におけるレミフェンタニルの蛋白結合率	植田 広	手術部	¥1,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
凝固カスケード制御による頭部外傷後の肺障害に対する新規治療戦略の開発	安井 秀樹	内科学第二	¥1,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
UCP4発現誘導による脳虚血耐性獲得メカニズムの解明と新たな脳梗塞治療法への挑戦	福司 康子	イノベーション光医学 研究室	¥1,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
上斜筋麻痺における下直筋後転術の治療効果に影響を与える因子に関する検討	古森 美和	眼科	¥60,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
乳幼児期から学齢期の睡眠パターンとその遷移が認知発達に与える影響	鈴木 晴香	子どものこころの発達 研究センター	¥1,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会
妊婦のやせに伴う胎生期発育不全が児の認知神経機能に及ぼす影響: 脳画像による検討	岩淵 俊樹	子どものこころの発達 研究センター	¥1,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興 会

集団療法型MANTRAによる神経性やせ症の改善効果とその脳内メカニズムの検討	磯部 智代	精神科神経科	¥,690,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
反芻思考に焦点づけた認知行動療法の自閉スペクトラム症への効果とその脳基盤の検討	竹市 峻	精神科神経科	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
がん病態時における血中miRNAに基づくオビオイドの至適薬物療法の構築	佐藤 聖	薬剤部	¥,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
がん病態時におけるフェンタニルの鎮痛効果と血液中のサイトカイン濃度との関係解析	石田 卓矢	薬剤部	¥,040,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
抗菌薬による腸内フローラの変化が及ぼすCYP3A4代謝薬剤の薬効・安全性への影響	八木 達也	薬剤部	¥2,413,840	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
NAFLDから発生した肝細胞癌の生物学的特徴の解明と新規治療標的の探索	武田 真	第二外科	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
炎症性物質-オキシトシン相互作用の網羅的解析: 自閉症中核症状の治療シーズ創出	宇佐美 梨奈	精神科神経科	¥2,860,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
小児期の感覚過敏性の脳神経学的基盤と言語発達に与える影響について	安間 裕子	子どものこころの発達研究センター	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
インテグリン阻害剤を応用した新たな肝線維症治療薬の開発	則武 秀尚	内科学第二	¥,690,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
フレイル・サルコペニアがICD, CRT植え込み患者に与える影響の検討	成瀬 代士久	内科学第三	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
Hyperemic Absolute coronary flowの信頼性評価試験	茂木 聡	第三内科	¥890,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
トリプトファン代謝物の網羅的解析による免疫療法のバイオマーカー開発	柄山 正人	化学療法部	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
肥満喘息の難治化メカニズムと新規治療基盤の創出	鈴木 勇三	内科学第二	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
免疫寛容の誘導を利用した喘息に対する経鼻投与型樹状細胞ワクチンの開発	古橋 一樹	検査部	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
利尿薬による糸球体濾過圧およびアンジオテンシンノーゲン濾過量の変動を可視化する	石垣 さやか	血液浄化療法部	¥780,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
in vivoイメージングによる虚血腎障害後の腎臓・肺内NETs動態の解明	藤倉 知行	第一内科	¥,950,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
脊髄虚血による対麻痺のモニター法と遅発性麻痺への新しい管理法の開発	川島 信吾	麻酔・蘇生学	¥,170,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
年齢による中長期歩行改善の違い-成人脊柱変形に対する矯正固定術後の検討	有馬 秀幸	整形外科	¥10,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
エストロゲンによるNrf2活性化に着目した閉経後メタボリック症候群の治療戦略	成味 恵	周産母子センター	¥,560,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
メンブレンパッチ法による術中の分子生物学的迅速解析法の確立	山口 裕貴	耳鼻咽喉科	¥20,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
抗EGFR抗体薬の血中動態・糖鎖修飾の定量的評価に基づくがん治療効果の個人差解明	柴田 海斗	薬剤部	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
皮膚障害発現機序の解明によるポリコソールの至適投与設計法の開発	山田 尚広	薬剤部	¥,430,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
薬剤耐性を起こす小型コロニー形成細菌のオミクス解析を用いた新たな治療戦略の確立	太田 悠介	検査部	¥,300,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
肥大型心筋症の臨床予後予測モデルの構築	秋田 敬太郎	第三内科	¥8,510,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
4D flow MRIによる血流解析を利用した、心筋梗塞に伴う左室内血栓症の予測	諏訪 賢一郎	内科学第三	¥,820,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
皮膚弾力に着目した新しいリンパ浮腫治療戦略の開発	横山 由里奈	リハビリテーション部	¥2,860,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会
質量分析イメージングを用いた感染性大動脈瘤の診断	津田 和政	外科学第一	¥2,080,000	(補委)	独立行政法人 日本学術振興会

植物性エストロゲン摂取による脳動脈瘤の破裂予防効果とメカニズムの検討	木村 哲朗	麻酔科蘇生科	¥1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ナノスーツ法を用いた血中循環HPV感染細胞のリアルタイムモニタリング法の確立	喜多 淳哉	耳鼻咽喉科	¥8,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌の血中循環腫瘍細胞による上皮間葉移行モニタリング法の確立	今井 篤志	耳鼻咽喉科	¥8,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
わが国のX連鎖性網膜色素変性患者と女性キャリアのQOL向上を目的とした臨床研究	倉田 健太郎	眼科	¥1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
GDF11およびmyostatinの顎口腔領域における発現分布の解析	林 祐太郎	歯科口腔外科学	¥1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
妊娠維持に有効な腸内、腔内および子宮内腔細菌叢の同定	安立 匡志	産婦人科	¥1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗薬物抗体に着目したバイオマーカー探索に有用な血中トシズマブ濃度測定法の検討	望月 啓志	薬剤部	¥480,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大規模出生コホートに基づく子どもの適応を規定する要因に関する研究	鈴木 香苗	児童青年期精神医学	¥1,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDD診断システムを用いた診断	須田 隆文	内科学第二	¥3,300,020	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
がん細胞特異的に発現するRNA結合蛋白質を標的としたがん治療薬の探索	梶村 春彦	腫瘍病理学	¥5,482,698	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
COVID-19感染による血栓症発症・増悪機転の解明と治療介入の可能性の解明	浦野 哲盟	医生理学	¥9,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較第 Ⅲ 相試験(P保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究 - ダルベガエチンアルファ製剤低反応に関する検	小倉 廣之	外科学第一講座	0円	補委	(公財)パブリックヘルスリサーチセンター
International Study for Treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL	安田 日出夫	第一内科	0円	補委	公益財団法人先端医療振興財団
静脈血栓塞栓症における非ビタミンK阻害経口抗凝固薬治療の前進追跡研究	坂口 公祥	小児科学講座	0円	補委	国立大学法人三重大学医学部附属病院
JFMC49-1601-C5(EPOC2 study) 食道癌患者へのDCF療法時に再発危険因子を有するStage II大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究	海野 直樹	外科学第二講座	0円	補委	国立大学法人三重大学医学部附属病院
EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌におけるアファチニブからオシメルチニブへの逐次投与の有	菊池 寛利	外科学第二講座	0円	補委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive (EGFRm+) 進行非小細胞肺癌におけるフルルビプロフェンアキセチル周術期投与による術後再発予防効果を検	倉地 清隆	外科学第二	0円	補委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
先天性代謝異常症患者を対象とした健康関連QOL調査(IEM-QOL)	須田 隆文	内科学第二	0円	補委	宝塚市立病院
間質性肺炎に対する多施設共同前進観察研究	須田 隆文	内科学第二	105,600円	補委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
難治性血管・リンパ管疾患に対するシロリムス療法確立のための研究	船井 和仁	外科学第一	0円	補委	国立病院機構横浜医療センター
高中性脂肪血症を合併した冠動脈疾患を対象としたペマフィブラートの冠動脈プラークの退縮に	福田 冬季子	小児科学講座	0円	補委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
FDG-PETによるアルツハイマー病の診断に関する多施設共同研究-SDAF-PET-	須田 隆文	内科学第二	20,000円	補委	国立大学法人東海国立大学機構 (名古屋)
浜松市児童青年期メンタルヘルス支援人材育成事業業務委託	平川 聡史	ナノスーツ開発研究部	1,000,000円	補委	国立大学法人東海国立大学機構 (岐阜)
新規オキシトシン製剤を用いた自閉スペクトラム症の革新的治療法の開発と治療効果予測技術の開	前川 裕一郎	内科学第三講座	0円	補委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
	尾内 康臣	生体機能イメージング研究室	0円	補委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	5,999,950円	補委	浜松市
	山末 英典	精神医学	45,500,000円	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

中間周波における神経作用(痛覚閾値)の調査	田中 悟志	総合人間科学講座 心理学	12,499,433円	補 委	総務省
スマート治療室における患者情報統合モニター上にデータ表示可能な、外科医の指先や鏡視下三次元像フローサイトメトリー細胞診による血中循環腫瘍細胞の質的診断法の開発	海野 直樹	外科学第二	37,531,902円	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
視線計測装置及び視線計測装置用診断プログラム(GF01)による自閉スペクトラム症(ASD)の診断	菊池 寛利	外科学第二	12,762,750円	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
Investigator initiated multicenter clinical trials in the aim to develop the first therapeutic for	土屋 賢治	子どものこころの発達 研究センター	14,713,400円	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
食中毒・呼吸器疾患ウイルスの高感度かつ迅速検出技術の開発	山末 英典	精神医学	46,347,080円	補 委	国立研究開発 法人日本医療 研究開発機構
	鈴木 哲朗	ウイルス・寄生虫学	5,200,000円	補 委	国立大学法人 静岡大学

計 165件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院にお ける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	船井 和仁	医学科 外科学第 一講座(心臓血 管・呼吸器・一般 (内視鏡)・乳腺外 科学分野)	8th Edition Tumor, Node, and Metastasis T-Stage Prognosis Discrepancies: Solid Component Diameter Predicts Prognosis Better than Invasive Component Diameter.	Cancers	Original Article
2	船井 和仁	医学科 外科学第 一講座(心臓血 管・呼吸器・一般 (内視鏡)・乳腺外 科学分野)	Fluorescence navigation with indocyanine green for identification of intersegmental planes using a photodynamic eye camera.	Journal of thoracic disease	Original Article
3	船井 和仁	医学科 外科学第 一講座(心臓血 管・呼吸器・一般 (内視鏡)・乳腺外 科学分野)	Uniportal video-assisted thoroscopic surgery using an intra-muscle closure during removal of drain	ANNALS OF TRANSLATIONAL MEDICINE	Original Article
4	船井 和仁	医学科 外科学第 一講座(心臓血 管・呼吸器・一般 (内視鏡)・乳腺外 科学分野)	Uniquely Modified Robotic- Assisted Thoracic Surgery With Good Intrathoracic Visual Field.	The Annals of thoracic surgery	Original Article
5	船井 和仁	医学科 外科学第 一講座(心臓血 管・呼吸器・一般 (内視鏡)・乳腺外 科学分野)	Urinary fluorescent metabolite O-aminohippuric acid is a useful biomarker for lung cancer detection.	Metabolomics : Official journal of the Metabolomic Society	Original Article
6	竹内 裕也	医学科 外科学第 二講座(消化器・ 血管外科学分野)	Will definitive chemoradiotherapy be a new normal for patients with resectable locally advanced esophageal cancer?	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society	Original Article

7	細野 克博	医学科 眼科学講座	A case of childhood glaucoma with a combined partial monosomy 6p25 and partial trisomy 18p11 due to an unbalanced translocation.	Ophthalmic genetics	Original Article
8	伊東 宏晃	医学科 産婦人科学講座	Efficacy and safety of controlled-release dinoprostone vaginal delivery system (PROPESS) in Japanese pregnant women requiring cervical ripening: Results from a multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled phase III study.	The journal of obstetrics and gynaecology research	Original Article
9	細川 誠二	医学科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	An Unhappy Shooting Star: A Laryngeal Foreign Body Masquerading as Croup.	Ear, nose, & throat journal	Original Article
10	細川 誠二	医学科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Conductive Hearing Loss and Ear Fullness Due to a Pulsatile Mass in the Middle Ear.	Ear, nose, & throat journal	Original Article
11	細川 誠二	医学科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Glottic adhesion and stenosis in a patient with systemic lupus erythematosus	Lupus	Original Article
12	細川 誠二	医学科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Pulsatile tinnitus with a whitish mass in the middle ear.	European annals of otorhinolaryngology, head and neck diseases	Original Article
13	三澤 清	医学科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Overexpression of Sal-like protein 4 in head and neck cancer: epigenetic effects and clinical correlations	CELLULAR ONCOLOGY	Original Article
14	中西 啓	医学科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Genetic Hearing Loss Associated With Autoinflammation.	Frontiers in neurology	Original Article

15	緒方 勤	医学科 小児科学 講座	Case Report: Efficacy of Reduced Doses of Asfotase Alfa Replacement Therapy in an Infant With Hypophosphatasia Who Lacked Severe Clinical Symptoms	Frontiers in Endocrinology	Original Article
16	小野 裕之	医学科 小児科学 講座	Case Report: Efficacy of Reduced Doses of Asfotase Alfa Replacement Therapy in an Infant With Hypophosphatasia Who Lacked Severe Clinical Symptoms	Frontiers in Endocrinology	Original Article
17	吉田 剛	医学科 整形外科 科学講座	Preoperative and Postoperative Sitting Radiographs for Adult Spinal Deformity Surgery: Upper Instrumented Vertebra Selection Using Sitting C2 Plumb Line Distance to Prevent Proximal Junctional Kyphosis.	Spine	Original Article
18	星野 裕信	医学科 整形外科 科学講座	Deviation of the centre of rotation of the femoral head in dysplastic hip joints.	Eur J Orthop Surg Traumatol	Original Article
19	横倉 正倫	医学科 精神医学 講座	In vivo imaging of dopamine D1 receptor and activated microglia in attention-deficit/hyperactivity disorder: A positron emission tomography study.	Molecular Psychiatry	Original Article
20	山末 英典	医学科 精神医学 講座	Application of Deep Brain Stimulation for Treatment-resistant Obsessive Compulsive Disorder: Current Status and Future Perspectives in Japan.	Neurologia medico-chirurgica	Original Article
21	杉本 健	医学科 内科学第 一講座(消化器・ 腎臓・脳神経内 科学分野)	Highly bioavailable curcumin derivative ameliorates Crohn's disease symptoms: A randomized, double-blind, multicenter study.	Journal of Crohn's & colitis	Original Article

22	杉本 健	医学科 内科学第一講座(消化器・腎臓・脳神経内科学分野)	Improvement in Ulcerative Colitis by Administration of Benralizumab for Comorbid Refractory Bronchial Asthma: A Novel Clinical Observation	Inflammatory bowel diseases	Original Article
23	永田 泰之	医学科 内科学第三講座(循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野)	Polaprezinc for prevention of oral mucositis in patients receiving chemotherapy followed by hematopoietic stem cell transplantation: A multi-institutional randomized controlled trial.	International journal of cancer	Original Article
24	佐野 誠	医学科 内科学第三講座(循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野)	Evaluation of predictive scores for late and very late recurrence after cryoballoon-based ablation of atrial fibrillation.	Journal of interventional cardiac electrophysiology : an international journal of arrhythmias and pacing	Original Article
25	佐野 誠	医学科 内科学第三講座(循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野)	Pseudothrombotic appearance on pulmonary valve by ¥intracardiac echocardiography during atrial fibrillation ablation	Journal of Arrhythmia	Original Article
26	佐野 誠	医学科 内科学第三講座(循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野)	Tortuous inferior vena cava with severe scoliosis: An impediment to successful leadless pacemaker implantation.	Journal of Cardiology Cases.	Original Article
27	諏訪 賢一郎	医学科 内科学第三講座(循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野)	Early changes of pulmonary arterial hemodynamics in patients with systemic sclerosis: flow pattern, WSS, and OSI analysis with 4D flow MRI	European radiology	Original Article
28	鈴木 勇三	医学科 内科学第二講座(内分泌・呼吸・肝臓内科学分野)	Assessment of Immune-Related Interstitial Lung Disease in Patients With NSCLC Treated with Immune Checkpoint Inhibitors: A Multicenter Prospective Study	Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer	Original Article

29	鈴木 勇三	医学科 内科学第二講座(内分泌・呼吸・肝臓内科学分野)	Cause of mortality and sarcopenia in patients with idiopathic pulmonary fibrosis receiving antifibrotic therapy.	Respirology (Carlton, Vic.)	Original Article
30	鈴木 勇三	医学科 内科学第二講座(内分泌・呼吸・肝臓内科学分野)	Disease course and prognosis of pleuroparenchymal fibroelastosis compared with idiopathic pulmonary fibrosis	Respiratory medicine	Original Article
31	穂積 宏尚	医学科 内科学第二講座(内分泌・呼吸・肝臓内科学分野)	Clinical Significance of Interstitial Lung Disease and Its Acute Exacerbation in Microscopic Polyangiitis.	Chest	Original Article
32	穂積 宏尚	医学科 内科学第二講座(内分泌・呼吸・肝臓内科学分野)	Predictors of acute exacerbation in biopsy-proven idiopathic pulmonary fibrosis.	Respiratory investigation	Original Article
33	三宅 秀明	医学科 泌尿器科学講座	Robot-Assisted Partial Nephrectomy for Patients with Multifocal Renal Tumors Arising in a Solitary Kidney: Report of Three Cases	Journal of endourology case reports	Original Article
34	大塚 篤史	医学科 泌尿器科学講座	Predictive factors for persistence of preoperative overactive bladder symptoms after transvaginal mesh surgery in women with pelvic organ prolapse	Lower urinary tract symptoms	Original Article
35	伊藤 泰介	医学科 皮膚科学講座	Understanding the significance of cytokines and chemokines in the pathogenesis of alopecia areata	Experimental dermatology	Original Article
36	影山 玲子	医学科 皮膚科学講座	Immunological Properties of Atopic Dermatitis-Associated Alopecia Areata	International journal of molecular sciences	Original Article
37	本田 哲也	医学科 皮膚科学講座	Reconciling innate and acquired immunity in atopic dermatitis.	The Journal of allergy and clinical immunology	Original Article

38	小西 憲太	医学科 放射線腫瘍学講座	The relationship between the quantitative evaluation of thyroid bed uptake and the disappearance of accumulation in adjuvant radioactive iodine therapy for differentiated thyroid cancer.	Annals of nuclear medicine	Original Article
39	中村 和正	医学科 放射線腫瘍学講座	National survey of radiation oncologists' practice patterns regarding hormone-naïve prostate cancer with bone metastases.	Japanese journal of clinical oncology	Original Article
40	岩泉 守哉	医学科 臨床検査医学講座	Two independent families with strongly suspected hereditary diffuse gastric cancer based on the probands' endoscopic findings.	Clinical journal of gastroenterology	Original Article
41	山田 康秀	医学科 臨床腫瘍学講座	Impact of sex and histology on the therapeutic effects of fluoropyrimidines and oxaliplatin plus bevacizumab for patients with metastatic colorectal cancer in the SOFT trial	Global Health & Medicine	Original Article
42	山田 康秀	医学科 臨床腫瘍学講座	Present status and perspective of chemotherapy for patients with unresectable advanced or metastatic gastric cancer in Japan	Global Health & Medicine	Original Article
43	宗 修平	寄附講座 生殖周産期医学講座	Beneficial effect of L-arginine in women using assisted reproductive technologies: a small-scale randomized controlled trial.	Nutr Res.	Original Article
44	宗 修平	寄附講座 生殖周産期医学講座	Impact of subchorionic hematoma in early pregnancy on obstetric complications: A retrospective cohort study in women who had live births after frozen-thawed embryo transfer.	Reprod Med Biol.	Original Article

45	宗 修平	寄附講座 生殖周産期医学講座	Risk factors of subclinical hypothyroidism and the potential contribution to miscarriage: A review.	Reproductive medicine and biology	Original Article
46	飯嶋 重雄	寄附講座 地域周産期医療学講座	Effects of Season of Birth and Meteorological Parameters on Serum Bilirubin Levels during the Early Neonatal Period: A Retrospective Chart Review	International Journal of Environmental Research and Public Health	Original Article
47	飯嶋 重雄	寄附講座 地域周産期医療学講座	Pitfalls in the assessment of gestational transient thyrotoxicosis	GYNECOLOGICAL ENDOCRINOLOGY	Original Article
48	飯嶋 重雄	寄附講座 地域周産期医療学講座	Seasonal and meteorological associations of vitamin K-dependent coagulation factors in 1-month-old infants: assessment of Normotest values.	Blood coagulation & fibrinolysis : an international journal in haemostasis and thrombosis	Original Article
49	飯嶋 重雄	寄附講座 地域周産期医療学講座	Suicide attempt using potassium tablets for congenital chloride diarrhea: a case report	World Journal of Clinical Cases	Original Article
50	大江 慎	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	Deterioration of sagittal spinal alignment with age originates from the pelvis not the lumbar spine: a 4-year longitudinal cohort study.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society	Original Article
51	大江 慎	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	Low occupancy rate of the pedicle screw in the vertebral body leads to upper instrumented vertebral fracture	Scientific reports	Original Article
52	大和 雄	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	Differences in the geometrical spinal shape in the sagittal plane according to age and magnitude of pelvic incidence in healthy elderly individuals.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association	Original Article

53	大和 雄	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	Long additional rod constructs can reduce the incidence of rod fractures following 3-column osteotomy with pelvic fixation in short term.	Spine deformity	Original Article
54	福田 冬季子	寄附講座 浜松成育医療学講座	Exome reports A de novo GNB2 variant associated with global developmental delay, intellectual disability, and dysmorphic features	European journal of medical genetics	Original Article
55	岩淵 俊樹	子どものこころの発達研究センター	When a sentence loses semantics: Selective involvement of a left anterior temporal subregion in semantic processing.	The European journal of neuroscience	Original Article
56	西村 倫子	子どものこころの発達研究センター	Measuring School Climate among Japanese Students- Development of the Japan School Climate Inventory (JaSC).	International journal of environmental research and public health	Original Article
57	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	Developmental changes in attention to social information from childhood to adolescence in autism spectrum disorders: a comparative study.	Molecular Autism	Original Article
58	土屋 賢治	子どものこころの発達研究センター	Diagnosing autism spectrum disorder without expertise: A pilot study of 5- to 17-year-old individuals using Gazefinder.	Frontiers in Neurology	Original Article
59	崔 多美	子どものこころの発達研究センター	Effects of cognitive and visual loads on driving performance after take-over request (TOR) in automated driving	Applied ergonomics	Original Article
60	坂口 公祥	小児科	Nationwide study of pediatric B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia with chromosome 8q24/MYC rearrangement in Japan.	Pediatric blood & cancer	Original Article

61	藤澤 泰子	小児科	Case Report: Efficacy of Reduced Doses of Asfotase Alfa Replacement Therapy in an Infant With Hypophosphatasia Who Lacked Severe Clinical Symptoms	Frontiers in Endocrinology	Original Article
62	花田 充	整形外科	A computer simulation study for preserving the tibial posterior slope in open-wedge high tibial osteotomy.	European journal of orthopaedic surgery & traumatology : orthopedie traumatologie	Original Article
63	花田 充	整形外科	Association of knee flexion angle after posterior-stabilized total knee arthroplasty with postoperative tibial external position relative to the femur and the extent of tibial internal rotation from knee extension to flexion.	The Knee	Original Article
64	花田 充	整形外科	Dependence of knee range of motion on the alignment of femoral and tibial components after medial unicompartmental knee arthroplasty.	European journal of orthopaedic surgery & traumatology : orthopedie traumatologie	Original Article
65	花田 充	整形外科	Intraoperative bacterial contamination in total hip and knee arthroplasty is associated with operative duration and peeling of the iodine-containing drape from skin.	European journal of orthopaedic surgery & traumatology : orthopedie traumatologie	Original Article
66	花田 充	整形外科	Investigation of Factors Affecting the Clinical Results of Arthroscopic Anterior Talofibular Ligament Repair for Chronic Lateral Ankle Instability.	The Journal of foot and ankle surgery : official publication of the American College of Foot and Ankle Surgeons	Original Article
67	花田 充	整形外科	Prognostic nutritional index as a risk factor for aseptic wound complications after total knee arthroplasty.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association	Original Article

68	長谷川 智彦	整形外科	Impact of adult spinal deformity corrective surgery in patients with the symptoms of gastroesophageal reflux disease: a 5-year follow-up report.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society	Original Article
69	有馬 秀幸	整形外科	Characteristics affecting cervical sagittal alignment in patients with chronic low back pain.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association	Original Article
70	有馬 秀幸	整形外科	Expert consensus on surgical treatment for adolescent idiopathic scoliosis in Japan.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association	Original Article
71	有馬 秀幸	整形外科	Factors Associated With Improved Quality of Life Outcomes in Patients Undergoing Surgery for Adult Spinal Deformity.	Spine	Original Article
72	和久田 智靖	精神科神経科	Late-Onset Oligosymptomatic Myotonic Dystrophy Type 1 Mimicking Prodromal Dementia With Lewy Bodies.	The American journal of geriatric psychiatry : official journal of the American Association for Geriatric Psychiatry	Original Article
73	和久田 智靖	精神科神経科	Opening doors for long-term institutionalised patients with schizophrenia in Japan	ACTA PSYCHIATRICA SCANDINAVICA	Original Article
74	安田 日出夫	第一内科	Dapagliflozin in Patients with Chronic Kidney Disease.	The New England journal of medicine	Original Article
75	磯部 伸介	第一内科	A Case of Recurrent Atypical Anti-Glomerular Basement Membrane Nephritis Suspicion after Renal Transplantation.	Nephron	Original Article

76	小野 孝明	第三内科	Prognostic effect of comorbidities in patients with chronic myeloid leukemia treated with a tyrosine kinase inhibitor.	Cancer science	Original Article
77	佐野 真規	第二外科	Potential role of transforming growth factor-beta 1/Smad signaling in secondary lymphedema after cancer surgery.	Cancer science	Original Article
78	松本 知拓	第二外科	Early detection of anastomotic leakage after esophagectomy using drain amylase levels.	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society	Original Article
79	川田 一仁	第二内科	The ursodeoxycholic acid response score predicts pathological features in primary biliary cholangitis.	Hepatology research	Original Article
80	大橋 温	中央診療施設(支援部門) 卒後教育センター	Sodium-Glucose Cotransporter-2 Inhibitor Immediately Decreases Serum Uric Acid Levels in Type 2 Diabetic Patients	Medical science monitor : international medical journal of experimental and clinical research	Original Article
81	古田 隆久	中央診療施設(支援部門) 臨床研究センター	Clinical Questions and Answers on Gastrointestinal Endoscopy during the Novel Coronavirus Disease 2019 pandemic.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society	Original Article
82	古田 隆久	中央診療施設(支援部門) 臨床研究センター	Dual Therapy with Vonoprazan and Amoxicillin Is as Effective as Triple Therapy with Vonoprazan, Amoxicillin and Clarithromycin for Eradication of Helicobacter pylori	DIGESTION	Original Article
83	古田 隆久	中央診療施設(支援部門) 臨床研究センター	Influence of clarithromycin on the bactericidal effect of amoxicillin in patients infected with clarithromycin-resistant strains of H. pylori	GUT	Original Article

84	三原 唯暉	中央診療施設(診療部門) 救急部	Predictive factors for correction rate in severe idiopathic scoliosis (Cobb angle $\geq 90^\circ$): an analysis of 128 patients	Eur Spine J.	Original Article
85	齊藤 岳児	中央診療施設(診療部門) 救急部	Real-time breath recognition by movies from a small drone landing on victim's bodies	Scientific reports	Original Article
86	石垣 さやか	中央診療施設(診療部門) 血液浄化療法部	Baseline Urinary Angiotensinogen Excretion Predicts Deterioration of the Kidney Function in Patients with Chronic Kidney Disease.	Internal medicine (Tokyo, Japan)	Original Article
87	栗田 忠代士	中央診療施設(診療部門) 手術部	Influence of hemorrhage and subsequent fluid resuscitation on transcranial motor-evoked potentials under desflurane anesthesia in a swine model.	Journal of clinical monitoring and computing	Original Article
88	栗田 忠代士	中央診療施設(診療部門) 手術部	Spinal cord autoregulation using near-infrared spectroscopy under normal, hypovolemic, and post-fluid resuscitation conditions in a swine model: a comparison with cerebral autoregulation.	Journal of intensive care	Original Article
89	石川 貴充	中央診療施設(診療部門) 周産母子センター	The association between congenital heart disease and small for gestational age with regard to the prevalence and outcomes	Acta Paediatr	Original Article
90	青木 善孝	中央診療施設(診療部門) 集中治療部	Landiolol hydrochloride for prevention of atrial fibrillation during esophagectomy: a randomized controlled trial.	JA clinical reports	Original Article

91	青木 善孝	中央診療施設(診療部門) 集中治療部	Remifentanyl provides an increased proportion of time under light sedation than fentanyl when combined with dexmedetomidine for mechanical ventilation.	The Journal of international medical research	Original Article
92	土井 松幸	中央診療施設(診療部門) 集中治療部	Efficacy and safety of remimazolam versus propofol for general anesthesia: a multicenter, single-blind, randomized, parallel-group, phase IIb/III trial.	Journal of anesthesia	Original Article
93	土井 松幸	中央診療施設(診療部門) 集中治療部	Safety and efficacy of remimazolam in induction and maintenance of general anesthesia in high-risk surgical patients (ASA Class III): results of a multicenter, randomized, double-blind, parallel-group comparative trial.	Journal of anesthesia	Original Article
94	竹下 明裕	中央診療施設(診療部門) 輸血・細胞治療部	Erythrocyte Alloimmunity and Genetic Variance: Results from the Collaborative Study of Alloimmunity to Antigen Diversity in Asian Populations (All ADP).	Transfusion and Apheresis Science	Original Article
95	竹下 明裕	中央診療施設(診療部門) 輸血・細胞治療部	Impact of CD56 Continuously Recognizable as Prognostic Value of Acute Promyelocytic Leukemia: Results of Multivariate Analyses in the Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG)-APL204 Study and a Review of the Literature.	Cancers	Original Article
96	杉山 貴之	泌尿器科	Expression Profile of S100A2 and its Clinicopathological Significance in Renal Cell Carcinoma	Anticancer research	Original Article
97	杉山 貴之	泌尿器科	Robot-Assisted Partial Nephrectomy for Patients with Multifocal Renal Tumors Arising in a Solitary Kidney: Report of Three Cases	Journal of endourology case reports	Original Article

98	本山 大輔	泌尿器科	Perioperative outcomes in patients undergoing robot-assisted partial nephrectomy: Comparative assessments between complex and non-complex renal tumors	Asian journal of endoscopic surgery	Original Article
99	中澤 慎介	皮膚科	Suprabasin-null mice retain skin barrier function and show high contact hypersensitivity to nickel upon oral nickel loading	SCIENTIFIC REPORTS	Original Article
100	榎本 紀之	保健管理センター	Acute exacerbation of unclassifiable idiopathic interstitial pneumonia: comparison with idiopathic pulmonary fibrosis.	Therapeutic advances in respiratory disease	Original Article
101	榎本 紀之	保健管理センター	Clinical, radiological, and pathological evaluation of "NSIP with OP overlap" pattern compared with NSIP in patients with idiopathic interstitial pneumonias	Respiratory medicine	Original Article
102	棚橋 裕吉	放射線科	Direct-Puncture Lymphatic Embolization in the Prone Position for Chylothorax Caused by Lymphatic Anomaly.	Journal of vascular and interventional radiology : JVIR	Original Article
103	棚橋 裕吉	放射線科	Dynamic contrast-enhanced computed tomography lymphangiography with intranodal injection of water-soluble iodine contrast media in microminipig: imaging protocol and feasibility.	European radiology	Original Article
104	棚橋 裕吉	放射線科	Intranodal Popliteal Lymphangiography for Postoperative Lymphorrhoea after Inguinal Node Dissection.	Journal of vascular and interventional radiology : JVIR	Original Article

計104件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院にお ける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	古田 隆久	中央診療施設(支 援部門)臨床研 究センター	[Helicobacter pylori感染症: 残された課題]本邦にお けるHelicobacter pylori除菌治 療の問題点	日本内科学会雑誌	Original Article
2	有馬 秀幸	整形外科	[腰椎分離症-病態・診断・ 治療]思春期腰椎分離症の 分離部骨癒合促進を目的と した低出力超音波パルス治 療	脊椎脊髄ジャーナル	Original Article
3	彦谷 明子	眼科	[斜視-基礎から実践ま で-]斜視と鑑別が必要な 疾患	OCULISTA	Original Article
4	細川 誠二	医学科 耳鼻咽喉 科・頭頸部外科学 講座	[知っておきたい口腔の感 覚異常]口腔の感覚異常の 病態と治療 放射線障害と 口腔感覚異常	JOHNS	Original Article
5	中澤 慎介	皮膚科	1. IgG4関連皮膚疾患の病 理組織像	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
6	前川 真人	医学科 臨床検査 医学講座	ALPおよびLD測定法の標 準化	臨床病理	Original Article
7	岩泉 守哉	医学科 臨床検査 医学講座	DNAミスマッチ修復機構か らみた大腸癌治療の感受性 変化	臨床化学	Original Article
8	三澤 清	医学科 耳鼻咽喉 科・頭頸部外科学 講座	JOHNS [がん免疫療法の最 前線] がん免疫に影響する 因子 腫瘍因子	JOHNS	Original Article

9	木村 通男	中央診療施設(支援部門) 医療情報部	SS-MIX の歴史	第40回医療情報学連合大会論文集	Original Article
10	宗 修平	寄附講座 生殖周産期医学講座	Twitterデータを用いた不妊治療患者の感情分析	日本受精着床学会雑誌	Original Article
11	木村 通男	中央診療施設(支援部門) 医療情報部	医療をはかる - 規・測・図・諮・謀・慮 -	第40回医療情報学連合大会論文集	Original Article
12	木村 通男	中央診療施設(支援部門) 医療情報部	医療情報システムの貢献を測り、展望を図る	第40回医療情報学連合大会論文集	Original Article
13	前川 真人	医学科 臨床検査医学講座	基準範囲と臨床判断値、そして基準値	臨床検査	Original Article
14	加藤 明彦	中央診療施設(診療部門) 血液浄化療法部	急性血液浄化施行時におけるAKI患者の栄養管理	日本急性血液浄化学会雑誌	Original Article
15	内藤 隆文	中央診療施設(診療部門) 薬剤部	抗体医薬のTDMの普及を志向したヒト血清中濃度測定のアナライザワークフローの構築	臨床薬理	Original Article
16	吉野 篤人	医学科 救急災害医学講座	災害時の医療連携 災害医療の合言葉「スイッチ入れて、CSCA TTT」	日本職業・災害医学会誌	Original Article
17	安立 匡志	医学科 産婦人科学講座	子宮頸部上皮内腫瘍に対するレザフィリンを用いたPDTの医師主導治験	産婦人科の実際	Original Article
18	伊東 宏晃	医学科 産婦人科学講座	子宮頸部上皮内腫瘍に対するレザフィリンを用いたPDTの医師主導治験	産婦人科の実際	Original Article
19	村上 浩雄	産科婦人科	子宮頸部上皮内腫瘍に対するレザフィリンを用いたPDTの医師主導治験	産婦人科の実際	Original Article
20	牧野 公美子	中央診療施設(支援部門) 臨床研究センター	施設内看取りを代理意思決定し看取る過程で家族が経験した精神的負担と代理意思決定に対する思い 介護老人福祉施設に入所する認知症高齢者の家族の場合	老年看護学	Original Article
21	東堂 暢子	形成外科	脂肪注入による乳房再建術を行い乳癌再発の診断に苦慮した 例	日本形成外科学会誌	Original Article

22	中川 雅裕	形成外科	脂肪注入による乳房再建術を行い乳癌再発の診断に苦慮した 例	日本形成外科学会誌	Original Article
23	東堂 暢子	形成外科	耳介軟骨膜を用いて難治性気管食道瘻を閉鎖した1例	形成外科	Original Article
24	中川 雅裕	形成外科	耳介軟骨膜を用いて難治性気管食道瘻を閉鎖した1例	形成外科	Original Article
25	前川 真人	医学科 臨床検査 医学講座	腫瘍マーカー(がんのバイオマーカー)の最新情報とその適応	日本内科学会雑誌	Original Article
26	阪田 麻裕	第二外科	髄芽腫、甲状腺癌、デスモイド腫瘍を合併した家族性大腸腺腫症 Turcot症候群の1例	日本大腸肛門病学会雑誌	Original Article
27	本田 哲也	医学科 皮膚科学 講座	接触皮膚炎の発症メカニズム	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
28	木村 哲朗	麻酔科蘇生科	椎弓後面ブロックが有用であったバイアスピリン内服中の帯状疱疹痛の一症例	ペインクリニック	Original Article
29	八木原 正 浩	麻酔科蘇生科	点滴法による小児硬膜外麻酔が守られた	日本臨床麻酔学会誌	Original Article
30	橋本 卓也	中央診療施設(診療部門) 検査部	当院におけるサルコペニア合併高齢者糖尿病患者の発症率と特徴	糖尿病	Original Article
31	橋本 卓也	中央診療施設(診療部門) 検査部	妊娠中に耐糖能が正常化する境界型糖尿病患者の1例	糖尿病	Original Article
32	橋本 卓也	中央診療施設(診療部門) 検査部	妊娠糖尿病の血糖管理におけるフラッシュグルコースモニタリング(FGM)と自己血糖測定(SMBG)との比較検討	臨床病理	Original Article
33	橋本 卓也	中央診療施設(診療部門) 検査部	妊娠糖尿病の妊娠中～分娩1年後の経過における児の性別による差の検討	日本内分泌学会雑誌	Original Article
34	坂口 公祥	小児科	病期ホジキンリンパ腫に対する放射線療法を省略したVAMP療法の有用性	日本小児血液・がん学会雑誌	Original Article

35	村林 奈緒	寄附講座 生殖周産期医学講座	不妊治療中の女性に対するEPDSについての検討	日本周産期メンタルヘルス学会会誌	Original Article
36	川上 純一	中央診療施設(診療部門) 薬剤部	薬機法等の一部改正	薬剤学: 生命とくすり	Original Article
37	青木 善孝	中央診療施設(診療部門) 集中治療部	臨床医のためのネットワークメタアナリシス	日本集中治療医学会雑誌	Original Article

計37件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

倫理審査委員会の設置状況	有・無
倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ア 倫理委員会の役割・責務等 イ 倫理委員会の業務 ウ 倫理委員会の運営 エ 倫理委員会における審査 オ 倫理委員会事務局の業務	
倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に 印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 ア 利益相反マネジメントの目的・対象・対象者 イ 利益相反マネジメント委員会の設置・審議事項・組織 ウ 利益相反マネジメントのための調査方法 エ 審議、勧告、決定等の手続き オ 臨床研究に関する調査等 カ 研修・啓発活動	
利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年6回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年8回
・ 研修の主な内容 ア 臨床研究の倫理と本学の臨床研究サポート体制 イ 臨床研究はなぜ私達に必要なのか	

ウ がん遺伝子パネル検査の臨床研究利活用

エ 品質マネジメントシステム

オ 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の概略について

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

小児科プログラム、皮膚科プログラム、精神科プログラム、放射線科プログラム、病理プログラム、臨床検査プログラム、内科プログラム、家庭医療プログラム、整形外科プログラム、産婦人科プログラム、眼科プログラム、耳鼻咽喉科・頭頸部外科プログラム、泌尿器科プログラム、脳神経外科プログラム、麻酔科プログラム、救急科プログラム、形成外科プログラム、リハビリテーション科プログラム、外科プログラム、口腔外科専門医取得プログラム

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	76人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
杉本 健	第一内科	教授	28年	
須田 隆文	第二内科	教授	35年	
前川 裕一郎	第三内科	教授	26年	
山末 英典	精神科神経科	教授	23年	
宮入 烈	小児科	教授	26年	
椎谷 紀彦	第一外科	教授	37年	
竹内 裕也	第二外科	教授	29年	
黒住 和彦	脳神経外科	教授	24年	
松山 幸弘	整形外科	教授	33年	
本田 哲也	皮膚科	教授	21年	
三宅 秀明	泌尿器科	教授	28年	
堀田 喜裕	眼科	教授	38年	
三澤 清	耳鼻咽喉科	教授	26年	
伊東 宏晃	産科婦人科	教授	35年	
五島 聡	放射線科	教授	21年	
中村 和正	放射線科	教授	33年	
中島 芳樹	麻酔科蘇生科	教授	34年	
増本 一真	歯科口腔外科	教授	27年	(歯科医師免許：27年)
山内 克哉	リハビリテーション科	准教授	27年	
中川 雅裕	形成外科	特任教授	30年	
乾 直輝	臨床薬理内科	教授	28年	
前川 真人	検査部	教授	39年	
馬場 聡	病理部	准教授	36年	
吉野 篤人	救急部	教授	35年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 感染管理 救急看護 褥瘡予防ケア 高齢者看護 看護研究 看護倫理 医療安全
・研修の期間・実施回数 4/6 9/18 10/10 10/27 10/28 12/4 12/7 7/17 7/20 7/10 7/13 9/11 9/14 5/14 6/17 7/15 8/26 9/25 11/20 7/3 7/6 9/4 9/17 11/9 4/6 7/10 7/13
・研修の参加人数 80人 13人 13人 33人 39人 36人 35人 36人 34人 36人 34人 39人 45人 29人 30人 28人 5人 5人 5人 40人 36人 36人 34人 11人 80人 36人 34人
業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 入退院支援研修 災害看護
・研修の期間・実施回数 7/27 10/12 11/6 12/18 7/17 7/20 7/29
・研修の参加人数 13人 13人 37人 13人 36人 38人 24人
他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 がん看護
・研修の期間・実施回数 9/4
・研修の参加人数 35人

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 松山 幸弘
管理担当者氏名	総務課長：長井享悟 / 人事課長：高井修逸 / 医事課長：山口誠 薬剤部長：川上純一 / 放射線部長：中村和正 / 手術部長・医療機器管理部長：中島芳樹 看護部長：佐々木菜名代 / 診療情報管理部長：前川裕一郎

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課	全科電子カルテを導入。カルテは、一患者1IDとし、入院及び外来ともに診療情報室において保存管理している。診療録の院外持ち出しは禁止している。
		各科診療日誌	医事課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医事課	
		看護記録	医事課	
		検査所見記録	医事課	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	医事課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課・医事課	
		高度の医療の研修の実績	医事課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課・医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課・医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課・医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課・医療安全管理室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課・感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課・感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課・感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課・感染対策室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課・医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課・感染対策室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課・診療情報管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課・診療情報管理部
		医療安全管理部門の設置状況	医事課・医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課・医療安全管理室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	医事課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課・医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課・医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課・医療安全管理室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課・医療安全管理室
		職員研修の実施状況	医事課・医療安全管理室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課・医療安全管理室
管理者が有する権限に関する状況	医事課・人事課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	企画評価課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	現状
閲覧責任者氏名	事務局次長(総務・教育担当) 足立 充	
閲覧担当者氏名	総務課長 長井 亨悟	
閲覧の求めに応じる場所	総務課情報公開室	
閲覧の概要 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年法律第140号)に基づき、国籍、住所、年齢、個人及び法人を問わず、浜松医科大学の保有する法人文書の開示を請求することができる。請求を受理してから、30日以内(請求の内容によってはそれ以上の日数を要する場合もある。)に開示・不開示等を決定し、請求者に通知する。その後、請求者からの開示の実施申出を受け開示を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安全管理に関する基本的な考え方 2 医療に係る安全管理のための委員会その他組織に関する基本的事項 3 医療に係る安全教育のための職員研修に関する基本方針 4 事故報告の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6 職員と患者との間の情報共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 その他医療安全の推進のための必要な基本方針 	
医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年12回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理体制の確保に関すること 医療事故等の把握、分析、対処改善、評価及び見直しに関すること 医療に係る安全管理のための職員の研修に関すること その他の医療の安全管理に関すること 	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年6回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> 【医療安全講習会】 2回（全職員対象） 【職種・部署別】 新採用職員ガイダンス：1回、研修医：1回、新採用看護師研修：2回 看護師採用時研修：e-learning、看護助手採用時研修：e-learning、 看護助手研修：1回、静脈注射院内認定看護師研修：e-learning 新採用・中途採用職員（看護部職員以外）：e-learning 看護職員（育休復帰者）：e-learning 	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>収集した情報をもとに、A)外部参加型事例調査、B)院内事例調査、C)M&Mカンファレンス、D)部署内検証レビュー、E)医療安全管理室のカンファレンス、F)医師並びに看護師GRMが検証、G)検証不要に分類し必要なスタッフで事例検証し、問題点を分析し、改善策を立案し、現場スタッフにフィードバックしている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策に関する管理組織機構 3. 従業者研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等への情報提供と説明に関する基本方針 7. 感染対策に関する地域医療機関との連携 8. その他院内感染対策及び抗菌薬適正使用推進のための基本方針 	
院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策の検討・推進 2. 院内感染防止の対応及び原因究明 3. 院内感染等の情報収集及び分析（抗菌薬の使用状況、分離菌種などの情報を含む） 4. 院内感染防止策及び抗菌薬適正使用等に関する従業者の教育・研修 5. 従業者の感染管理 6. その他院内感染対策に関する事項 	
従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年69回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 【院内感染対策講習会】 3回（全職員対象） 【職種・部署別】 研修医ガイダンス（感染対策実習：手洗い、安全装置付き針の取り扱い） 新採用・中途採用職員への感染対策講習：計350名（医師136名、研修医46名、看護師93名、コメディカル50名、事務25名） 受託実習生感染対策講習：計16回 部署別感染対策勉強会：23回（3階東病棟、8階東病棟、8階西病棟、4階西病棟、NICU、集中治療部、血液浄化療法部、光学診療部、放射線部、リハビリテーション部、救急部、産科婦人科、小児科、腎臓・内分泌・循環器・血液・免疫内科、脳神経外科、泌尿器科） 【委託・派遣業者】 受託実習生感染対策講習：計16回 委託・派遣職員感染対策講習：11回（清掃業者、搬送担当者、リネン担当者、看護助手） 	
感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTラウンド（週1回）による感染対策の実施状況および環境整備の確認 ・ 耐性菌発生状況の把握とアウトブレイク介入基準に基づく介入、および血液培養陽性患者の把握と評価 ・ 広域抗菌薬、抗MRSA薬、抗真菌薬使用患者のモニタリングと抗菌薬適正使用の評価 ・ 感染対策に関する介入を要した事例の部署別ミーティングの実施 ・ 院内Web内の感染対策ホームページへの掲載、ICT NEWSの発行、感染対策情報の回覧等による感染情報の提供 ・ 院内感染対策ポケットマニュアルの配布 ・ 新型コロナウイルス感染症対策会議の開催 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p> 医薬品の副作用、血中濃度測定のための採血の必要性、廃棄時の注意、調製方法</p>	
<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p>	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p> 実施状況については年1回チェックシートを用いて確認している。</p>	
<p>医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p>	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)：</p> <p> ・ 小児再生不良貧血に対するエルトロンボパグの投与</p> <p> ・ ステロイド不応性の続発性(薬剤性)温式自己免疫性溶結性貧血(AIHA)に対するリツキシマブの投与</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p> ・ 薬剤師による処方監査・処方確認および入院患者への処方確認時に使用目的を確認し、必要に応じて疑義照会および処方確認を実施している。</p> <p> ・ 病棟担当薬剤師が病棟での診療科カンファレンスに参加し患者の薬物治療について情報を収集し、適応外使用の可能性がある場合には医薬品安全管理室や医薬品情報管理室薬剤師とその都度情報を共有している。適応外使用の申請がなされた場合、診療倫理委員会事務局から医薬品情報管理室へ個々の適応外使用のリスクについて相談する体制を取っている。医薬品情報管理室から病棟担当者や調剤室など関連する部門へ適応外使用の情報を共有している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年79回
<p>・ 研修の主な内容： 7種の機種（本院は診療用粒子線照射装置を持たず）を含む医療機器の有効性、使用法、保守点検の方法、不具合発生時の報告手順、法令で定めるコンプライアンスの遵守事項の確認を中心に行った。</p>	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 （有・無） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 機器に添付されている使用・保守説明書に記載された点検項目に従い点検を行った。</p>	
医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 呼吸サポートチーム（RST）が中央診療施設、病棟の呼吸器全般（条件、作動状況など）を巡回監視した。活動は1回/週、定例会議1回/月</p> <p>病棟等で使用する患者モニター、人工呼吸器の動作状況の確認のため、1回/日（日曜日以外）MEが巡回監視を行った。</p> <p>当直担当者を配置し、ICUを中心に医療機器全般の対応を行った。</p> <p>待機当番を配置し、通常業務の時間外の対応や夜間祝日の緊急手術や緊急カテーテル等への対応を行った。</p> <p>直接、MEが関わらなかったインシデントに対しても情報を収集し、積極的にインシデントレポートを提出し、スタッフ間で情報の共有を行った。</p> <p>COVID患者に対してしっかりしたPPEをした上で、ECMOやHDへの対応を行った。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無
<p>・責任者の資格 (医師 歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>「浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理規程」を定め統括しています。</p>	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)(2名)・無
<p>医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の整理は薬剤部医薬品情報管理室にて実施している。 ・情報の周知は添付文書改訂の通知を定期的実施している。また医薬品安全性情報等の通知および当該医師への伝達、DI ニュースの発行などを必要に応じて実施している。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未承認薬等による治療が必要になった場合、治療を実施する医師は薬剤部医薬品安全管理室あるいは製剤室に照会する。 ・病棟などで薬剤師が確認した際は医師に疑義照会などを実施している。 ・院内製剤は診療倫理委員会及び薬剤管理委員会にて承認を受ける。 <p>・担当者の指名の有無 (有)・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p>	
医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ((有) 無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p>	

昨年度も各診療科から3冊ずつピックアップしたサンプル調査を実施（サンプル対象は、手術を実施しICUを経過した比較的重症度が高いと思われる症例から抽出）、医療者の同席率とIC後の反応の記録について調査し、診療情報管理委員会にて報告を行った。

診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>全症例について、退院時要約、手術記録、入院診療計画書を確認。さらに多職種（医師、看護師、薬剤師、事務）による診療記録監査（入院診療計画書、診療録、看護記録、薬剤記録、退院時要約、手術記録、説明同意書）をサンプル調査にて実施し、診療情報管理委員会にて報告を行った。</p>	
医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（2）名、兼任（10）名 うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（5）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（0）名 うち看護師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（2）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>医療事故及びインシデントの収集、調査、分析に関すること。 医療事故防止対策の立案及び周知に関すること。 リスクマネージャーとの連絡調整に関すること。 医療事故防止に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること。 医療事故防止に係る教育・研修・啓発の立案に関すること。 医療事故防止対策マニュアルの作成に関すること。 医療事故等に係る診療録等記載の確認、指導に関すること。 医療事故等に係る対応状況の確認、指導に関すること。 病院医療安全管理委員会の庶務に関すること。 医療安全に資する診療の状況の把握及び職員の医療安全の認識の状況の確認に関すること。</p> <p>【モニタリングの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線診断重要レポートに対し検査を依頼した医師が対応したかのモニタリング ・中心静脈挿入時のチェックリスト ・コードブルー発生件数 <p>平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	

高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 8 件）、及び許可件数（ 7 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
- ・活動の主な内容：
病院で行う新規医療技術の導入の申請に対し倫理的・科学的妥当性について審査、確認及び事後検証を行う。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
- ・活動の主な内容：
当院では薬剤部・薬剤管理委員会を未承認新規医薬品等の担当部門としており、「当院で使用したことのない医薬品であって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律における承認または認証を受けていないもの」の導入に際して、以下の項目について審査を行っている。
 - ・当該未承認新規医薬品等と既存の医薬品とを比較した場合の優位性（予測される有害事象の重篤性、頻度等の安全性等の観点を含む。）
 - ・未承認新規医薬品等の使用条件（使用する医師又は歯科医師の制限等）
 - ・当該未承認新規医薬品等の使用に起因するものと疑われる有害事象の把握の方法（血液検査の実施、調査票の配布等）
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 271 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 94 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 収集した情報をもとに、A) 外部参加型事例調査、B) 院内事例調査、C) M&Mカンファレンス、D) 部署内検証レビュー、E) 医療安全管理室のカンファレンス、F) 医師並びに看護師GRMが検証、G) 検証不要に分類し、必要なスタッフで事例検証、問題点を分析、改善策を立案し現場スタッフにフィードバックしている。

他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有）（病院名：三重大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有）（病院名：名古屋大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
 合併症の把握についてオカランスの基準作成などの助言をいただいた。当院はオカランスの基準などは定めていないが予定外のICU入室や再手術が必要になった事例などはインシデントレベル3b以上として現場から報告をもらうとともに安全管理部門で情報収集を行っている。

当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
 医療安全患者相談窓口：医療安全管理室
 責任者：医療安全管理室長
 担当者：ゼネラルリスクマネージャー（GRM）及び医事課医療安全推進係長

職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
 【医療安全講習会】
 2回（全職員対象）
 【職種・部署別】
 新採用職員ガイダンス：1回、研修医：1回、新採用看護師研修：2回
 看護師採用時研修：e-learning、看護助手採用時研修：e-learning、
 看護助手研修：1回、静脈注射院内認定看護師研修：e-learning

新採用・中途採用職員（看護部職員以外）：e-learning

看護職員（育休復帰者）：e-learning

（注）前年度の実績を記載すること（ の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構が実施する下記病院管理者研修を受講した。

管理者 令和2年11月2日 2020年度特定機能病院管理者研修（初回10.5時間）

医療安全管理責任者 令和3年1月28日 2020年度特定機能病院管理者研修（初回10.5時間）

医薬品安全管理責任者 令和2年11月11日 2020年度特定機能病院管理者研修（継続5時間）

医療機器安全管理責任者 令和2年11月25日 2020年度特定機能病院管理者研修（継続5時間）

（注）前年度の実績を記載すること

医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和元年6月に日本医療機能評価機構の病院機能評価「一般病院3 <3 rdG:Ver.2.0>」を受審した。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

本院のホームページに認定証を掲載し、日本医療機能評価機構のホームページに掲載されている審査結果が閲覧できるようリンクを貼りました。

・評価を踏まえ講じた措置

C評価とされた10項目は改善報告を行い令和2年9月18日及び令和3年6月29日に再審査を受審して令和3年7月30日付けで「一般病院3 <3 rdG:Ver.2.0>」に認定された。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 医師免許を有している者 2. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 3. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 4. 本学及び本院の理念に基づいた病院運営を遂行できる者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・ 公表の方法 浜松医科大学ホームページにおいて公表
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・ 公表の方法 浜松医科大学ホームページにおいて公表 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	特別の関係
山本 清二	浜松医科大学理事		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第1号に基づく学長が指名する理事又は副学長	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
渡邊 裕司	浜松医科大学理事		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第1号に基づく学長が指名する理事又は副学長	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
難波 宏樹	浜松医科大学 医学部脳神経外科 学講座教授		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第3号に基づく病院運営企画室会議からの選出	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
紀平 幸一	静岡県医師会長		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第4号に基づく学長が委嘱する学外有識者 医療・保健・福祉全般に豊富な知見を有しているため	有 <input checked="" type="radio"/> 無

御室 健一 郎	浜松いわた信用金 庫理事長		医学部附属病院長候補者選考会 議規程第3条第4号に基づく学長 が委嘱する学外有識者 法人経営や地域の経済・社会につ いて豊富な知見を有しているた め	有 <input checked="" type="radio"/> 無
毛利 博	静岡県病院協会長		医学部附属病院長候補者選考会 議規程第3条第4号に基づく学長 が委嘱する学外有識者 医療・保健・福祉全般に豊富な知 見を有しているため	有 <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 病院運営における中期目標、中期計画に関する事項（進捗状況のモニタリングを含む） 病院予算、業務実績報告に関する事項 その他病院運営に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 診療科長会議で報告している。 院内ホームページに議事内容を掲載している。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="radio"/> 無 ） ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・<input checked="" type="radio"/> 無 ） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (を付す)	職種	役職
松山 幸弘		医師	病院長
堀田 喜裕		医師	副病院長（渉外・広報担当）
中村 和正		医師	副病院長（教育・研修担当）
三宅 秀明		医師	副病院長（運営・管理担当）
竹内 裕也		医師	副病院長（リスクマネジメント担当）
佐々木菜名代		看護師	副病院長（患者サービス担当）
須田 隆文		医師	第二内科主任診療科長
前川 裕一郎		医師	第三内科主任診療科長
椎谷 紀彦		医師	第一外科主任診療科長
伊東 宏晃		医師	産科婦人科診療科長
中島 芳樹		医師	麻酔科蘇生科診療科長
前川 真人		医師	検査部長
木村 通男		医師	医療情報部長

小林 利彦		医師	医療福祉支援センター長
川上 純一		薬剤師	薬剤部長
増本 一真		歯科医師	口腔外科科長
長川 武司		事務	事務局次長（病院担当）

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容
病院長は、病院の業務を総括する。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副病院長（渉外・広報担当）
副病院長（教育・研修担当）
副病院長（運営・管理担当）
副病院長（リスクマネジメント担当）
副病院長（患者サービス担当）

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
毎年1回開催される以下の会議・勉強会・研修会等に職員を参加させ、病院のマネジメン
トを担う人員の育成に努めている。
 - ・ 近畿・中部地区病院経営企画担当事務職員勉強会
 - ・ 近畿・中部地区附属病院経営担当課長等会議
 - ・ 国立大学附属病院係長クラス勉強会
 - ・ 国立大学附属病院契約実務担当者ワークショップ
 - ・ 国立大学附属病院若手職員勉強会

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容： 本院の安全管理体制について外の委員も含めた委員で監査・評価を実施する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有) 無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法： 病院ホームページにおいて公表している。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
小島 崇宏	大阪 A & M 法 律事務所	○	医療に係る安全管 理に関する識見を 有する者	有 (無)	1
桑原 允嗣	静岡県立高等 学校元副校長		医療を受ける者	有 (無)	2
大磯 義一郎	国立大学法人 浜松医科大学		法律に関する識見 を有する者	(有) 無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

内部統制システム推進責任者（病院長）は、附属病院の業務における内部統制システム（法令等に適合するための体制及びその他業務の適正を確保するための体制）の整備及び運用を推進するとともに、その整備及び運用状況について、内部統制担当役員に定期的に報告を行うものとしており、内部統制担当役員は、内部統制上の重大な問題を発見し、又は報告を受けたときは、速やかに適切な対処を行うとともに、内部統制最高管理責任者（学長）に報告し、併せて再発防止措置を講ずるものとしている。

・ 専門部署の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 内部規程の整備の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 公表の方法

浜松医科大学ホームページにおいて公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 国立大学法人法に基づき、大学法人の経営に関する重要事項を審議する機関として経営協議会を置いている。当協議会は、外部有識者の諮問会議の性質を有するもので、大学法人経営の大きなウエイトを占める附属病院の管理運営に関しても多くの意見・助言等を受けている。 ・ 会議体の実施状況（ 年 4 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）（ 年 4 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ） ・ 公表の方法 規程は公表していないが、運営の透明性を担保するため、協議会の開催状況、審議内容、外部委員の意見等を大学ホームページで公開している。 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人浜松医科大学経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (を付す)	利害関係
今野 弘之	学長	○	有
山本 清二	理事（教育・産学連携担当）		有
渡邊 裕司	理事（企画・評価担当）		有
佐藤 誠	理事（財務担当）		有
晝馬 明	理事（経営担当）		有
松山 幸弘	副学長（病院担当）		有
伊藤 修二	公益財団法人 浜松市文化振興財団代表理事		無
猿田 享男	公益財団法人 医療研修推進財団顧問		無
紀平 幸一	一般社団法人 静岡県医師会長		無
布村 幸彦	公益財団法人 東京リトル・パ・リトル・ック競技大会組織委員会副事務総長		無
正木 治恵	千葉大学大学院看護学研究科教授		無
御室 健一郎	浜松磐田信用金庫会長		無
門田 守人	地方独立行政法人 堺市立病院機構理事長		無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 通報件数 (年 0 件)
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (有 ・ 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有 ・ 無)
- ・ 周知の方法
医療安全ニュース等において周知している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類(任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>(1) 広報誌による情報発信 病院案内(年1回発行) 「はんだ山の風」(年4回発行) 医療福祉支援センター広報誌「かけはし」(年4回発行)</p> <p>(2) 市民公開講座等による情報発信 浜松医科大学主催「公開講座」(R03.11.6 開催予定) 浜松医科大学主催 静岡がん治療フォーラムを開催 静岡肝疾患診療連携拠点病院主催で「市民公開講座」(年3回)を実施している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>(1) 緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、呼吸ケアサポートチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチームによるチーム医療を提供している。</p> <p>(2) 感染対策室、医療安全管理室、医療福祉支援センター(がん相談、肝疾患相談、難病相談、退院支援)等多職種が参加した診療・ケアの実施している。</p>	